

平成30年度

第1回 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会

議 案 書

1. 日 時 平成30年7月23日(月) 午前10時00分から

2. 場 所 赤穂市役所6階大会議室

平成30年度

第1回 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 委員・顧問の紹介
4. 審議事項
 - 第1号議案 平成29年度活動報告について
 - 第2号議案 平成29年度収支決算について
 - 第3号議案 平成30年度事業計画(案)について
 - 第4号議案 平成30年度収支予算(案)について
5. 協議事項
 - 協議第1号 国道250号・高取峠トンネルの事業化及び
県道竜泉那波線の整備促進に係る要望について
6. その他
7. 副会長あいさつ
8. 閉会

第1号議案

平成29年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会活動報告について

平成29年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会活動を下記のとおり実施したので、その承認を求める。

平成30年7月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 明石元秀

記

平成29年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会活動報告

実施時期	実施内容
平成29年 7月31日	第1回 協議会 報告事項 ・平成28年度活動報告について 審議事項 ・相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会規約の一部を改正する規約の制定について ・平成29年度事業計画について ・平成29年度収支予算について
平成29年10月27日	第2回 協議会 協議事項 ・国道250号・高取峠トンネルの事業化及び県道竜泉那波線の整備促進に係る要望書の提出について ・啓発ポスターの作成について
平成29年12月21日	要望会 要望内容 ・高取峠トンネルの事業化について (西播磨地域社会基盤整備プログラムへの位置づけ) ・県道竜泉那波線の早期事業完了について 要 望 先 : 兵庫県庁及び西播磨県民局 回答 ・高取峠トンネルの事業化について 交通需要の変化や周辺地域の進展を見極めつつ中長期的な課題として取り組んでいく。 ・県道竜泉那波線の早期事業完了について 事業認定手続きを進めており、本格的な工事着手に向け取り組んでいる。

第2号議案

平成29年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支決算について

平成29年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支決算について、下記のとおり承認を求める。

平成30年7月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 明石元秀

記

平成29年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支決算

収入決算額	180,000円
支出決算額	116,596円
差引	63,404円（次年度へ繰越）

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較	備考
負担金	180,000	180,000	0	90,000円×2市
雑入	1,000	0	△1,000	
合計	181,000	180,000	△1,000	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較	備考
事業費	160,000	104,986	△55,014	啓発ポスター作成 外
会議費	13,000	5,616	△7,384	会議賄
事務費	8,000	5,994	△2,006	会長印作成
合計	181,000	116,596	△64,404	

監 査 報 告

平成29年度相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の収支決算について、帳簿書類等を照合精査したところ、収支とも適正に処理されていることを認めます。

平成30年4月12日

監事 相生市建設農林部長 高 田 雅



監事 赤穂市建設経済部長 古 津 和



第3号議案

平成30年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会事業計画(案)について

平成30年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の事業計画は、下記に定めるところによる。

平成30年7月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 明石元秀

記

平成30年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会事業計画（案）

実施時期	実施内容
平成30年7月23日	第1回協議会 ・平成29年度活動報告について ・平成29年度収支決算について ・平成30年度事業計画（案）について ・平成30年度収支予算（案）について ・国道250号・高取峠トンネルの事業化及び県道竜泉那波線の整備促進に係る要望について
平成30年10月頃	要望活動
平成31年2月頃	講演会

第4号議案

平成30年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支予算(案)について

平成30年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の収支予算は、下記に定めるところによる。

平成30年7月23日 提出

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 明石元秀

記

平成30年度 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会収支予算書(案)

収入予算額 244,000円
支出予算額 244,000円

収入の部

(単位：円)

科目	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比較	備考
負担金	180,000	180,000	0	90,000円×2市
雑入	596	1,000	△404	預金利息
繰越金	63,404	0	63,404	
合計	244,000	181,000	63,000	

支出の部

(単位：円)

科目	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比較	備考
事業費	221,000	160,000	61,000	講演会経費 外
会議費	13,000	13,000	0	会議賄 外
事務費	10,000	8,000	2,000	通信運搬費 外
合計	244,000	181,000	63,000	

協議第 1 号

国道 250 号・高取峠トンネルの事業化及び 県道竜泉那波線の整備促進に係る要望について

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の設置目的である国道 250 号・高取峠トンネルの事業化及び県道竜泉那波線の整備促進を図るため、事業主体である兵庫県に対して、下記のとおり要望活動を実施する。

平成 30 年 7 月 23 日

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 明 石 元 秀

記

- 1 要望相手先 兵庫県県土整備部長 濱 浩二氏
兵庫県西播磨県民局長 東元 良宏氏
- 2 要 望 日 平成 30 年 10 月頃
- 3 要 望 場 所 兵庫県庁及び西播磨県民局

要 望 書（案）

赤穂市と相生市を繋ぐ幹線道路である国道250号は、臨海部の工業地帯を結び、物流・産業を支えるとともに、地域の生活道路として利用されている。また、兵庫県地域防災計画では緊急輸送道路に位置付けられ、西播磨地域唯一の災害拠点病院である赤穂市民病院へ連絡する防災上も重要な道路である。

しかしながら、両市境にある高取峠区間は、見通しが悪くきついカーブが連続し、過去5カ年で両市併せて234件もの交通事故が発生する大変危険な峠道となっている。ひとたび重大事故が発生すれば、長時間に渡る通行止めにより物流・交流が停滞する恐れがある。

また、西播磨地域で中核的な役割を担う赤穂市民病院においては、相生方面からのアクセス性向上は、医療ネットワーク強化の面で重要な課題である。

高取峠トンネルは、これらの問題解決に非常に有効な社会基盤であるとともに、交通円滑化や通勤圏拡大による雇用確保につながり、両市が推進する地方創生の観点で不可欠な道路である。

両市を繋ぐ安全・安心な道路を確保し、産業振興と地方創生によるまちづくりを推進するため、高取峠トンネルの事業化について強く要望する。

また、相生市を取り巻く広域的な幹線道路は、山陽自動車道をはじめ、国道2号や県道姫路上郡線といった東西方向が主であり、南北方向は極めて弱い状態である。

特に中心市街地の道路網は、国道2号から赤穂方面へ抜ける南北交通が1路線に集中しており、それに伴う交通渋滞や交通事故の増加、騒音・排気ガスなど公害発生等の問題が生じている。

このような状況の中、兵庫県により国道2号と国道250号を結ぶ南北交通軸として重要な路線である県道竜泉那波線が事業着手され、平成14年末には第1期工事区間が供用開始され、平成28年度には第2期工事区間の都市計画道路の変更が行われ、土地収用に向けた手続きが進められているところである。

引き続き、両市民が待望する竜泉那波線全線の早期完成について、強く要望する。

要望事項

一、高取峠トンネルの事業化

(西播磨地域社会基盤整備プログラムへの位置付け)

一、県道竜泉那波線の早期事業完了

平成30年 月 日

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会

会 長 赤穂市長 明 石 元 秀 印

副会長 相生市長 谷 口 芳 紀 印

要望路線箇所

県道 竜泉那波線

国道250号・高取峠トンネル

